

基本計画・前期基本計画の体系図に関する事項

- 主な成果指標の設定にあたっては、設定の根拠や目標値の達成に向けた考えを十分に整理していただくようお願いしたい。

産業分野に関する事項

(1) 商工業の振興

- 港湾は本市において重要な施設であることから、インバウンドなど、観光分野も視野に入れ、しっかりと整備を促進するとともに、安全対策にも取り組んでいただきたい。
- 工業のみならず、商業に関する施策を盛り込むとともに、地域により偏りが生じないように、配慮して進めていただきたい。

(2) 地域ブランドの推進

- 地域ブランドの推進の核となる道の駅ソレーネ周南のリニューアルについて、スピード感を持って取組を進めていただきたい。

(3) 農林水産業の振興

- 県や他市、関係機関等と連携し、若者への農林水産業の教育体制の強化に努めるとともに、若者が農業に関わる機会の創出や拡大に取り組んでいただきたい。また、農林水産業で生計を立てることがイメージできるようになるような取組も検討していただきたい。
- 施設老朽化についてチャンスとして捉え、例えば水産市場などを延命化だけではなく、より集客できる体験型施設にリニューアルするなど、徳山駅南側が活性化するような施策を検討していただきたい。

教育・こども分野に関する事項

(1) 子育て支援の充実

- 子育て世帯の経済的負担の軽減、児童クラブの安定的な運営体制の構築など、子育て支援サービスの充実に向けて、今後も引き続きしっかりと取り組んでいただきたい。
- 周南市は子育て支援が充実していることから、子育てに対してポジティブなイメージを若者に持ってもらえるよう、施策のPRに取り組んでいただきたい。

- 保育士の確保といった課題に対し、業務量削減の観点から、デジタルの力を積極的に活用していただきたい。また、資格が不要な保育補助について、周南公立大学と連携し、検討を進めていただきたい。
- 若者の結婚や出産に対する意識が変化していることから、こうした若者の意識の変化に応じた子育て支援施策を展開していただきたい。

（２）教育の充実

- 不登校及び不登校傾向の児童や生徒、また、その保護者に対する支援を引き続き行っていただきたい。
- 市全体でデジタル教育の共通化を行っていただきたい。
- 学校給食費の無償化に向けた検討を進めていただきたい。

（３）生涯学習の充実

- 青少年の健全育成の推進にあたっては、デジタル技術の活用が苦手な人に対して、配慮しながら取組を進めていただきたい。
- 図書館から離れた地域に住んでいる市内のこどもたちのためにも、学校図書の実を充実を図っていただきたい。

（４）高等教育機関の充実

- 周南公立大学の校舎を建て替える際は、市の財政状況に鑑み、計画的に行っていただきたい。

地域づくり・文化分野に関する事項

（１）地域づくり活動の推進

- 地域の夢プランの策定に向けた取組について、積極的に PR を行っていただきたい。
- 自治会において、役員の高齢化、担い手不足、若い方の関心が薄い等の様々な問題があり、自立した取組を展開していくことが困難となっていることから、行政も一緒になって取組を進めていただきたい。
- 市民活動の担い手不足の解消に向けた支援を図っていただきたい。こうした支援は移住者の受入や、創業支援の推進にもつながると考える。
- 地域おこし協力隊に着任した方が活動しやすい環境づくりとともに、地元定着を促進するための支援を図っていただきたい。

（２）移住・交流の促進

- 市の公式 SNS を活用した魅力発信の取組推進のため、まずは、市民が公式 SNS をフォローするきっかけづくりに取り組んでいただきたい。
- 市民ライターの活動は素晴らしい活動であり、こうした活動の PR に、より一層取り組んでいただきたい。
- 移住の促進・関係人口の拡大につなげるため、子育て支援サービスの充実など、移住につながる支援制度について、SNS で積極的に情報発信していただきたい。
- 関係人口と移住人口を分けて考えるのではなく、連続的な視点により取り組んでいただきたい。

（３）文化芸術の振興

- 昨今の部活動の地域移行といった課題への対応に繋がるといった視点から、文化芸術を振興する担い手の維持・確保のため、周南文化協会等の関係団体に対して支援を図っていただきたい。
- 部活動の地域移行にあっては、文化活動に対するこどものニーズ把握に努めていただきたい。
- 文化芸術及びアートの力は今後期待されていることから、ハード・ソフト両面の視点により、市として下支えしていく取組を継続していただきたい。

（４）スポーツの振興

- 「（仮称）スポーツ活動推進センター」について、「スポーツ活動サポートセンター」あるいは、「スポーツ活動支援センター」とした名称を検討していただきたい。
- スポーツ施設における使用料について、こどもや学生が利用しやすい料金設定を検討していただきたい。また、スポーツ施設までの移動手段の充実にも取り組んでいただきたい。
- 部活動の地域移行といった課題への対応として、スポーツの分野においても、地域クラブの登録団体数の増加に向けて、スポーツ環境の充実に取り組んでいただきたい。
- 部活動の地域移行にあっては、スポーツ活動に対するこどものニーズ把握に努めていただきたい。

（５）観光・交流の推進

- 本市の観光振興の推進に向けて、関係課が連携を図り、施策展開を図っていただきたい。

- 川崎観音堂等の本市の登録有形文化財について、文化財の保存のみならず、観光資源として、官民が連携して活用していただきたい。
- 児玉源太郎や、まど・みちおといった本市の偉人・先人について、後世に語り継ぐ取組を、観光振興につながるとした視点も加えて今後も推進していただきたい。
- 観光客の受入環境の充実を図るため、徳山駅周辺の駐車場の確保に取り組んでいただきたい。
- 徳山駅周辺や徳山動物園等の施設において、多言語表記を取り入れるなど、分かりやすい観光案内サインの設置に取り組んでいただきたい。
- スポーツコンベンションのより一層の推進のため、細やかな支援を検討していただきたい。

保健・福祉分野に関する事項

(1) 地域福祉の充実

- 地域福祉の充実においては、支え合いの地域づくりの推進のみならず、自立への促進に向けた取組も進めていただきたい。
- 都会から地方へ移住される高齢者に対する福祉サービスの充実として、温泉などの地域資源を活用することも一案として、今後視野に入れていただきたい。

(2) 高齢者福祉の充実

- 高齢者の外出を促すため、鹿野高齢者生産活動センターのような機能を持った施設を、地域ごとに設置していただきたい。
- 高齢者福祉の充実に向けて、周南公立大学と連携し、学生の視点も参考に取り組を進めていただきたい。

(3) 障害者支援の充実

- 様々な問題を抱えている児童生徒や家庭に対して、専門的な知識を教員が身につけられるよう努めるとともに、障害のある子どもが学び続けられる環境の確保に取り組んでいただきたい。
- 障害者に対する各種制度や申請方法等について、市民にとってわかりやすいものを検討していただきたい。

(4) 健康づくりの推進

- 妊娠・出産後の女性の健康づくりの支援に力を入れていただきたい。

- がん検診の受診率の向上に向けて、受診を促すアプローチをしていただきたい。
- 「スマートライフチャレンジ」について、取組がマンネリ化しているように見受けられるため、新たな取組を検討していただきたい。
- フレイル予防のため、老人クラブと市が連携し、今後も取組を進めていただきたい。
- 高齢者の介護状態の防止やヤングケアラーの発生を防ぐといった視点からも、高齢者の社会交流を今後も促進していただきたい。
- デジタル技術・ICT を活用した健康管理の推進や、予防接種等の各種申請手続きを検討していただきたい。
- 睡眠の重要性について、その周知や啓発活動に取り組んでいただきたい。

(5) 地域医療の充実

- 今後の人口減少問題を鑑みると、中山間地域のみならず、都市部や周辺部においてもオンライン診療の導入を検討していただきたい。
- 新南陽市民病院においては、ハード、ソフト両面において、機能拡充を図るため、今後も取組を推進していただきたい。

防災・安全分野に関する事項

(1) 災害に強いまちづくりの推進

- 避難所の整備やリアルタイムで避難すべき避難所が分かる仕組みなど、「逃げ遅れゼロ」に繋がる取組を進めていただきたい。
- 災害時にしっかりと避難所運営ができるよう、市民への啓発とともに避難所運営に関わる機関との連携をしっかりと進めていただきたい。

(2) 消防・救急体制の充実

- イベント等で学生との連携を図るなど、若者が消防団について興味を持ってもらえるような取組を進めていただきたい。
- 生活スタイルの変化により、消防団のあり方も変わってくると思われる。こうした時代の変化に対応する組織づくりを支援していただきたい。

環境共生・人権分野に関する事項

(1) 循環型社会の実現

- ゴミの分別の問題については、自治会と市が連携し、改善に向けた取組を今後も継続して進めていただきたい。

- 海洋プラスチックごみ対策における周南市の現状について、「環境教育」の一環として、周知を図っていただきたい。

（２）環境保全の推進

- 市民や企業の努力により、環境保全が推進されたことが分かるような情報発信に努めていただきたい。

（３）市民生活の安全性の向上

- 自転車のヘルメットや詐欺被害防止の啓発にあたっては、実際の事故映像を活用するなど、市民が自分事と感じられるような工夫に取り組んでいただきたい。
- 防犯運動や交通安全運動について、自主的にボランティアで取り組まれている市民がいる。こうした自発的に取り組まれている市民に対して、功勞表彰や、活動のPR等の取組を推進していただきたい。

（４）人権尊重社会の実現

- 人権尊重に関して、特に若者に対して啓発を行う際は、問題を身近に感じ、受け止められるような取組の工夫を検討していただきたい。

生活基盤分野に関する事項

（１）インフラマネジメントの推進

- 台風・豪雨による水害の激甚化・頻発化の傾向にある中、こうした自然環境に対応する下水道の整備を研究していただきたい。
- 国や県が管轄している道路の適正な維持管理について、市からも要望していただきたい。
- 中心市街地において賑わいの創出が図られた一方で、徳山駅周辺において車両の走行に係る問題が発生していることから、適切な管理に努めていただきたい。

（２）都市環境の整備

- 周南緑地の水泳場建設に際して、駐車場の整備を検討していただきたい。
- スケートボードやボルダリングといったアーバンスポーツの施設整備に取り組んでいただきたい。
- 健康遊具や、誰もが利用できるインクルーシブ遊具の導入に取り組んでいただきたい。

- 空き家の利活用の手段の一つとして、地域活動の場として利活用することを検討していただきたい。

（３）都市拠点等の形成

- 中心市街地のみならず、周辺地域の拠点都市の形成や強化についても力を入れて取り組んでいただきたい。
- 民間が主導して市内で行うイベントに対して、賑わいの創出とした視点から支援を図っていただきたい。
- 徳山駅前において、雨に濡れないウォーカブルな空間の創出に取り組んでいただきたい。
- 市民館跡地の利活用について、国の機関の集約化が図られれば、徳山駅前の活性化等に寄与すると考えられることから、今後の取組に期待したい。
- 公共交通の担い手確保は重要な課題であり、行政のみで解決できるものではない。官民が連携し、継続して取り組んでいただきたい。

